

11月の保育 ○ねらいと担任の思い

<4歳児 りす組>

親子運動会で年長児と一緒に様々な活動に取り組んだ経験が、年少組の子どもたちにとっては大きな刺激となったようでした。運動会を経てより年長児に対しての親しみや憧れの気持ちが強くなり、自分から遊びに誘ったり、はと組のようにやってみたい！と、少し難しいことにも挑戦してみようとしたりする姿が見られるようになっています。一人ひとりの気持ちを丁寧に受け止め、友達との関わりや自分の思いを表して遊ぶ姿などを支えながら、思いやイメージが実現していくことのうれしさを味わっていけるように援助していきます。

風や水の冷たさ、葉の色づきなどからは、秋の深まりが感じられるようになりました。この時期ならではの自然物を使って遊ぶ楽しさ、子どもたちが実際に経験したことを形にしていく面白さを感じていけるよう、自分なりに描いたり作ったりする経験を大切にしていきます。また、様々な活動の中で、イメージにあった素材や方法を選んで作ることを経験し、作品が飾られるうれしさや作ったものを使って遊ぶ楽しさなどを味わえるようにしていきます。

今月は有栖川公園へ清掃活動に出掛けたり、公共交通機関を利用して遠足に行ったりと、園外で過ごす時間も多くなります。公共の場の利用の仕方や集団での過ごし方などを知らせ、守って行動できるように指導するとともに、実際に過ごす中で分かったり気付いたりしていく姿も大切にしていきます。

☆自分なりのイメージを様々な素材や方法を使って表現する楽しさを感じる。

☆身近な秋の自然を遊びに取り入れたり、栽培物の生長を楽しみに世話をしたりするなど、自然に親しみをもって自分から関わろうとする。

☆公共の場や集団での過ごし方が分かり、自分から守ろうとする。



<5歳児 はと組>

親子運動会を経験し、学級のまとまりを感じるようになりました。また、自信や意欲が高まり、いろいろな活動や行事に生き生きと取り組む様子が見られます。寒さを感じる中でもチームに分かれてドッジボールやリレーに繰り返し取り組み、仲間と作戦を考える面白さや力を合わせて取り組む楽しさを味わっています。

作品展への活動が始まります。学級の友達と同じ目的に向かって力を合わせて取り組む中でグループの友達と相談しながら進めたり、個々が持ち味を発揮したりできるようにし、一緒に取り組む喜びや満足感を得られるようにしていきます。

園庭、遠足や園外保育で秋から冬へと移り変わる自然に触れ、遊びや活動に取り入れていけるようにします。園内外の秋の自然に触れる機会を通して、自然の美しさや不思議さを感じ、調べたり取り入れて遊んだりすることを楽しめるようにしていきます。また、製作活動に秋の自然を取り入れ、出来上がった作品を学級の友達と見せ合い認め合うなど表現する喜びも感じられるようにしていきます。

☆いろいろな素材や道具の性質を知り、選んで使いながら、自分のイメージを工夫して表現する楽しさを味わう。

☆共通の目的に向けて学級やグループの友達と相談したり、協力したりしながら、一つのことを皆でつくり上げていく楽しさを味わう。

☆木々の葉の色の変化や美しさを感じたり、栽培物の生長に期待をもって世話をしたりしながら、秋から冬への季節の変化に興味や関心をもつ。